



政務活動費のHP公開 選挙公報の発行など

議会改革特別委員会では、定期的に会議を開催し、議会改革について協議を進めています。

その協議した結果の一つが、予算決算特別委員会の設置です。これまで、市の予算・決算の審査は議員全員の参加ではなく、予算は常任委員会の構成議員で、決算は選抜議員での審査でした。今年度からは議長を除く全議員（ただし決算審査では議員選出の監査委員を除く）で構成する予算決算特別委員会



予算決算特別委員会の現地調査

審査を行います。市主催の勉強会の後、常任委員会と同じ議員で構成する分科会で専門的な集中審議を行い、その後、現地調査や全体会を実施するなど、全議員の共通認識を図るとともに、チェック機能の強化、審議の充実に併せ、新年度予算への反映に努めます。

このほか、ホームページでの政務活動費の公開や選挙公報の発行についても協議を行いました。

政務活動費は、平成26年度分から、市議会ホームページに各議員の収支報告書、出納簿を公開するように、年度内を目標に準備を進めています。また、同ページに「政務活動費」のカテゴリーを設置し、制度、支給額、規則などを記載し、

政務活動費について市民の皆さんの理解が得られるよう情報発信に努めます。

選挙公報については、投票する時の判断材料とするため、次回市議会議員選挙から選挙公報を発行するよう、市関係部局に申し入れを行いました。

今後、常任委員会構成のあり方などについて協議を重ねるとともに、議会改革の先進事例研究を進めるなど、開かれた議会を目指し、市民の皆さんの期待に応えるべく、継続して議会改革に取り組んでまいります。



議会改革特別委員会
(左から) 中谷、神田、岡田、横川、小野
水本、真鍋、福部、松浦

編集 後記

今年度から新しくはじまった「予算決算特別委員会」。本

日の決算審査では、綾歌三山の松枯れから漁業問題まで取り上げられ、あらためてコンパクトな面積に山から海まで擁している本市の姿を認識させられます。

かつて東京からのお客さんが、城山山頂からの眺めを「平野にぼこんぼこんとおむすび山があつて海も見える。ここは日本昔話の世界だ!」と大感激していたのを思い出しました(中に住んでいると、よく分からない感覚でしたが...)。

先日、瀬戸内海を「里海」に、という改正特別措置法も成立し、今、「里山」「里海」と、その価値は生活に根ざした宝として、大きく注目されています。それと同時に、その宝が損なわれることへの警鐘も鳴らされています。

秋晴れに仰ぐ飯野山や、光る瀬戸内海。豊かな我がまちの財産を、どう活かす、将来へつないでいけるか。

私たちも考え、動き出す時です。

広報広聴副委員長 中谷真裕美

総務委員会

7月
13~15日

大村競艇
長崎市
福岡県

大村ボートレース場

大村市は昭和27年に全国初のボートレースを開催した発祥の地ですが、存続が危ぶまれる状況まで経営が悪化。しかし、積極的な改善により奇跡と称されるほどの復活を遂げました。丸亀が今後、参考に取り入れるべき施設運営や「攻めの経営」を学びました。



ボートレース発祥の地記念館

長崎市 市役所カワルプロジェクト

市役所へのニーズが多様化し、対応が困難になってきた

中、「市民力」をキーワードに市役所全体で取り組む姿勢を打ち出し、市民満足(幸福)度の向上を目的とした「市役所カワルプロジェクト」を学びました。

福岡共同公文書館

平成24年に開館した福岡共同公文書館は、県と県内58市町村で設置、運営する全国初の施設です。公文書を後世に残すことは、自治体にとって重要な責務であり、丸亀での設置を考えた場合、共同設置、運営は一つの解決策であり、有効な学びとなりました。



保存・修復作業室

教育民生委員会

7月
13~15日

福津市
北九州市
大村市

常任委員会視察

福津市では、学校、子供、家庭や地域が抱える課題を地域ぐるみで解決し、地域の力を学校運営に生かす「コミュニティスクール」について研修しました。保護者や地域住民が学校運営に参画する上で「地域住民が学校運営についてわからないことはない」というところまで共有する姿勢が重要だと痛感しました。

北九州市では「地域でGo! Go!健康づくり」について研修しました。小学校区を基本に設置されている「市民センター」を拠点とした健康づくり事業で、地域の特性を生かした事業で健康だけでなく、人間関係の構築



北九州市での研修



大村市の認定こども園

にも効果がある一方、活動を行う人材不足などの課題もあり、住民、行政、保健師が互いに解決に向けた情報を共有することが大切であると感じました。

大村市では認定こども園を視察しました。幼稚園でも保育所でもない「認定こども園」を運営していくことは、想像以上に難しい点が多いことを再認識。子供のことを第一に考えるということがこども園運営にもっとも大切なことであり、子育て家庭が望む事業実施には職員の連携、保護者や地域住民の理解と協力が決して欠かすことのできないものであるということを知り、視察を通じて実感しました。

都市経済委員会

7月
6～8日

島田市
瀬戸市
草津市

島田市のにぎわいのある 中心市街地形成計画

本市と同様に、駅前中心市街地の空洞化が著しい状況に歯止めを掛けるため、民間施工者による再開発事業を支援し、敷地共同化による商業、業務施設、共同住宅、駐車場の用途を複合した施設を設置するなど、共同利用、高度利用を促進することで、交流人口を増やし、中心市街地の再生を図っていました。



駅前再開発ビル（島田市）

瀬戸市の もつかる農業と瀬戸農業塾

瀬戸地域アグリカルチャーネットワーク構想により、農業を主要施策に位置づけて瀬戸農業

塾を立ち上げ、地産地消の推進や6次産業化、担い手育成、遊休農地対策など、市が1/4出資の道の駅を拠点に取り組んでいます。

草津市の 中心市街地活性化計画

草津市では人口減少、少子高齢社会に対応できるよう、まちの構造を見直し、中心市街地の市民の暮らしを支え続ける市民の「生活拠点」として再生するための計画を立て、官民連携による「元氣」と「うるおい」のある生活交流都市実現が確実視されるなど、島田市や瀬戸市と合わせて本市の政策形成の参考となりました。



中心市街地を望む（草津市）

生活環境委員会

7月
13～15日

名張市
湖南広域消防局
奈良市

ゆめづくり地域予算

住宅開発地域で自治会加入を条件としたことから、自治会加入率が95%以上の名張市。従来の補助金から使途が自由な交付金へという地域予算制度が創設され、今では住民主導のまちづくりが実現しています。



名張市での研修

湖南広域消防訓練棟

総合訓練が可能な7階建ての主塔、障害突破訓練のための副塔、ロープブリッジ救出訓練のためのステージ塔で構成されています。消防局が実施する大規模訓練でも年間10回以上は施設

を活用しているとのことでした。丸亀市の今後の整備の具体化に大変参考になりました。



消防訓練棟を視察

TOPSPORTSCITY 奈良

地域密着型トップスポーツ支援・振興として、広報紙やホームページで試合情報を発信、ファン感謝祭やアスリートが直接指導を行う学校巡回事業、応援寄附制度を新設して市民から寄附を呼びかけるなど積極的に行っています。

常任委員会では市勢発展に資するため、先進事例を視察し、調査・検討を行っています。

丸亀市議会

議会報告会

あなたの声を議会に！市政に！

2015.11.9月

午後6時半～

同時刻2か所開催

丸亀市民会館 中ホール

アイレックス 小ホール

最寄の会場にご来場ください。



ちゅーちゅー
ちゅーちゅー



主催／丸亀市議会

お問い合わせ先／丸亀市大手町二丁目3番1号 TEL0877-24-8828 FAX0877-24-8867
E-mail:gikai@city.marugame.lg.jp